

課 題	1	新しい時代を担う子どもの育成
重点項目	5	子どもの遊び場・居場所づくり

目的

家庭や地域など子どもの生活領域において、子どもの生活の主要な部分を占める「遊び」や生活体験・社会体験のための環境づくりや居場所づくりをすることにより、子どもたちが地域の中で集団で体をつかって力いっぱい遊び、様々な経験を経ることで、子どもの「育つ力」を伸ばすとともに「生きる力」を養います。

対象・手段

対象)0歳から18歳未満の子どもとその保護者及び子どもたちを見守り支援する地域住民・団体
 手段) 地域の教育力との協働・連携の推進
 児童館機能の強化と学童クラブ事業の多様化
 学校施設を活用したひろばづくり

重点項目の方向

児童館・学童クラブ及び公園など地域の遊び場の充実を図るとともに、学校施設をはじめとした社会資源を有効に相互利用していきます。
 学校を中心として地域の大人たちが子どもにかかわっていく環境づくりを進めたり、学校跡地を活用したコミュニティひろばづくりも進めていきます。
 ハードの整備とともに、地域の人材を活用した子育ての仕組みづくりや心の居場所づくりにも配慮していきます。

成果指標

指標名		定義		目標水準		
居場所事業への参加児童・生徒数		目標値に対する参加者数		(毎) 年度に (30人) の水準達成		
時間延長対応学童クラブ数		時間延長対応学童クラブ数		(平成19) 年度に (10か所) の水準達成		
地域検討会開催数		四谷地区協議会四谷ひろばプロジェクト開催数		(平成19) 年度に (5回開催) の水準達成		
重点項目の達成状況						
		単 位	平成17年度	平成18年度	平成19年度	備 考
重点項目 成果指標	目標値1	人	30.00	30.00	30.00	
	実績1	人	43.00	33.26	26.76	
	目標達成率1 = /	%	143.33	110.87	89.20	
	目標値2	か所	10.00	10.00	10.00	
	実績2	か所	6.00	6.00	10.00	
	目標達成率2 = /	%	60.00	60.00	100.00	
	目標値3	回	6.00	6.00	5.00	
	実績3	回	6.00	6.00	5.00	
	目標達成率3 = /	%	100.00	100.00	100.00	

主な取組み

地域の教育力との連携事業の実施8団体11事業実施、情報誌の発行年4回11,000部発行(うち1回は15,000部)
 地域スポーツ・文化事業(区立小・中学校全校で居場所づくり事業を含む)延べ2,696回、72,144人参加
 各小・中学校の総合学習等に講師等地域の人材情報等を提供
 新たに百人町学童クラブ、西落合学童クラブ、戸山小学校内学童クラブの児童指導業務を委託し、時間延長に対応
 四谷ひろば運営協議会が設立され、四谷ひろばが平成20年4月のオープン

課題

子どもに関係する地域団体と、地区協議会や学校施設活用運営委員会、地域スポーツ・文化協議会等とのネットワークを図るとともに、その他多様な地域団体との連携体制を強化していく必要があります。
 利用者及び地域関係者の意見・要望を反映しながら、効率的でサービスが向上する児童館・学童クラブ事業を実施する必要があります。
 四谷ひろばの開設にあたり、継続して安定した運営がなされる組織とするために、幅広い地域団体等の協力が必要となります。

評価

総合評価	
<p>目標水準をおおむね達成し、子どもたちの遊びや生活体験・社会体験のための環境づくりや居場所づくりの充実を図れたことから、総合評価をBとしました。</p> <p>サービスの負担と担い手 地域住民により自主管理・自主運営される四谷ひろばや、業務委託の実施に伴う学童クラブの時間延長など、区・地域住民・民間事業者との役割分担のもと、協働してサービスの向上を図っています。</p> <p>適切な目標設定 子どもたちの遊びや生活体験・社会体験のための環境づくりや居場所づくりを進めることは、区民ニーズを踏まえたもので適切です。</p> <p>効果的・効率的な視点 民間事業者や地域の人材・活力を事業の実施に有効に活用しており、費用対効果の面で効果的・効率的に行われています。</p> <p>目的の達成度 次世代を担う子どもたちの健全な育成は、社会全体の責務です。子どもたちが安心して、さまざまな遊びや生活体験・社会体験をすることができる「子どもの遊び場・居場所づくり」の充実が必要であり、各種の事業において、ほぼ目標どおり達成することができました。</p>	B

今後の取組み・改革の方針

子どもに関係する地域団体同士の連携だけではなく、地区協議会や学校施設活用運営委員会、地域スポーツ・文化協議会、その他多様な地域団体と総合的な連携が可能な環境づくりに取り組んでいきます。
 児童館機能の強化と学童クラブ事業の多様化については、学童クラブ需要が高く、学区域内に学童クラブがない場合には、余裕教室等の状況を見ながら学校内学童クラブ事業を実施するとともに、他の区有施設の活用も含めた拡大を図っていきます。また、業務の効率化と管理運営面を改善するため、指定管理者制度の導入を検討します。
 学校跡地を活用したひろばづくりについては、区民の参加と協働によるひろばづくりモデル事業として安定的な運営がなされるよう、経常事業化し区として引き続き支援していきます。
 なお、この重点項目については、新宿区総合計画「 - 4 - 生涯にわたり学習・スポーツ活動などを楽しむ環境の充実」及び「 - 2 - 地域において子どもが育つ場の整備・充実」に引き継いで取り組んでいきます。

重点項目を構成する計画事業

	総合評価	頁	総合評価	頁
地域の教育力との協働・連携の推進	B	80		
児童館機能の強化と学童クラブ事業の多様化	B	48		
学校跡地を活用したひろばづくり	A	136		